

第19回新中間処理施設整備検討会議（開催概要）

1 開催日時 令和2年2月13日（木）13時30分～14時30分

2 開催場所 くりりんセンター2階研修室

3 出席者

（1）構成員

帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

（2）オブザーバー

北海道十勝総合振興局

（3）事務局

くりりんセンター

1. 開会

（事務局長）

本日は、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから、第19回新中間処理施設整備検討会議を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

「パブリックコメントの実施結果」について、事務局より説明いたします。

2. 議事

議事（1）パブリックコメントの実施結果について

（事務局）

昨年12月20日から今年1月20日までの期間、新中間処理施設整備基本構想（原案）のパブリックコメントを実施いたしましたので、その結果について概要をご説明いたします。

ご意見をお寄せいただいた住民の方は、1月30日の速報版では97人と報告させていただきましたが、お1人で2通の意見を出されている方がいたことから計96人に修正しております。

市町村別の内訳では、鹿追町が4人から3人に修正した以外は、帯広市が60人、音更町が13人、新得町、清水町が3人、芽室町、幕別町がそれぞれ7人で変更はございません。

ご意見の件数としましては、速報版では198件と報告させていただきましたが、精査した結果、262件となっております。

なお、複数の章に関わる意見について、いずれかひとつの章のものとして整理しています。内訳については、現在も精査中でありますことから、今後修正する可能性がございます。

第1章では、広域化に関するご意見が1件、第2章では、資源化及び減量化による施設規模見直しに関するご意見が19件、第3章では、リニューアル方式の検討を求めるもののほか、ごみの分別や廃熱利用等に関するご意見が43件、第5章では、建設候補地の浸水対策等に関するご意見が32件、第6章では、地球温暖化防止やCO2削減等に関するご意見が16件、第7章では、事業費が高額である、市町村及び住民一人当たりの負担額を示せ、等のご意見が76件、その他として12月から1月にかけて実施した説明会等に関するご意見が75件となっており、3の一例に記載

しているご意見の内容は、ご意見のうち件数の多かったものとなっております。

今後のスケジュールとしましては、構成市町村の皆様から2月末を目途に組合の考え方についてご意見をいただき、3月上旬に事務局で取りまとめを行い、3月開催予定の次回検討会議で協議確認の上、年度内に公表したいと考えております。

次に、より丁寧な説明を行った方が良いと思われるご意見もいただいたことから、組合としては令和2年度の委託業務として予算を計上し、追加の調査・検討を行っていきたいと考えており、その内容についてご説明いたします。

一つ目は、基本構想原案の第2章、ごみの基本条件の設定に関わる事項として、「資源化やリサイクルによりごみの減量化を図るべきである」、「ごみ減量化の目標設定をし、その自治体ごとの数値目標を設定することを中間処理施設建設の策定と合わせて取り組むべきである」等の意見がありました。この点につきましては、市町村のごみ減量施策の推進などについて改めてお伺いしなければわからないものであり、場合によっては、ごみ排出量を再度推計する必要もあるのではないかと考えております。そのため、一般廃棄物の資源化に関する調査を行いたいと考えております。なお、資源化・減量化の状況によっては施設規模が見直されることもあるものと考えています。

二つ目は、基本構想原案の第3章、ごみ処理方式の選定に関わる事項として、「リニューアル方式により住民負担を減らす方法を検討すべきである」、「北見市や白糠町なども含め十勝内外の焼却炉を活用することでリニューアル方式が再検討できるのではないか」、「リニューアル方式にする場合、110t2炉と66t1炉にする場合の問題点を明らかにしてほしい」などのご意見がありました。この点につきましては、十勝圏域外のごみ処理施設なども含めて調査を行うほか、先進都市における施設整備の状況や新設以外の整備方式に関する事例調査などの追加調査を行う中でリニューアル方式についてもさらに検証を深めたいと考えております。

三つ目は、基本構想原案の第5章、建設候補地及び施設配置に関わる事項として、「水害の発生時に建設候補地は危険である」、「現在地よりも5m以上低い場所で良いのか」、「移転候補地は、災害発生時の被災の可能性が否めず、納得のいく説明がなされていない」などのご意見がありました。これについても原案策定がハザードマップ改定前であったことから新たな情報収集や調査を行う必要があるものと考え、中島地区における治水等に関する調査やデータ収集などを行ってまいりたいと考えております。なお、調査結果を踏まえ、本検討会議で最終案を検討します。

説明は以上です。

(事務局長)

何かご意見等ございませんか。なければ、パブリックコメントの実施結果については、これでもよろしいでしょうか。

3. 閉会

(事務局長)

それでは以上を持ちまして会議を終わります。

会議の資料及び概要につきましては、これまでの会議と併せ組合のホームページで公表してまいります。本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。